



ユーザーガイド

HP バリューサーマルレシートプリンター

© Copyright 2018 HP Development Company,
L.P.

Microsoft、Windows、および Windows Vista
は、米国 Microsoft Corporation の米国および
その他の国における商標または登録商標で
す。






本書の内容は、将来予告なしに変更される
ことがあります。HP 製品およびサービスに
対する保証は、当該製品およびサービスに
付属の保証規定に明示的に記載されてい
るものに限られます。本書のいかなる内容
も、当該保証に新たに保証を追加するもの
ではありません。本書に記載されている製
品情報は、日本国内で販売されていないも
のも含まれている場合があります。本書の
内容につきましては万全を期しております
が、本書の技術的あるいは校正上の誤り、
省略に対しては、責任を負いかねますので
ご了承ください。

初版：2018 年 5 月

製品番号：L30788-291

このガイドについて

このガイドでは、HP BTP-S81 サーマルレシートプリンターのセットアップおよび使用方法について説明します。

-
-  **警告！** 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある**危険な状況を示します。
 -  **注意：** 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある**危険な状況を示します。
 -  **重要：** 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（本体の損傷に関する記載など）。この重要事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
 -  **注記：** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
 -  **ヒント：** タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
-

目次

1 製品の特長	1
プリンターの各部	2
2 プリンターのセットアップ	4
プリンターの設置場所の選択	4
プリンターの設置	4
新しいレシート用紙のセット	5
ケーブルの接続	7
用紙切れ間近位置の調整	9
上面印刷	10
前面印刷	10
プリンターのテスト	11
電源投入およびセルフテストの手順	11
16 進数ダンプモードの使用	11
プリンターの設定項目	12
プリンターの設定	13
3 プリンターの操作	16
プリンターの問題の回避	16
プリントヘッドの過熱防止	16
厳しい環境の回避	16
用紙	16
プリンターの清掃	17
プリンターのキャビネットの清掃	17
プリントヘッドおよびプラテンローラーの清掃	17
マークセンサーの清掃	18
紙くずの除去	18
紙詰まりの除去	18
付録 A トラブルシューティング	19
エラーランプおよびビープ音	19
通常の対処方法	20
一般的なトラブルの解決方法	20
ビープ音	20
プリンターから印字されない	20


エラー ランプが点滅している	21
印刷品質に関する問題	22
カッター エラー	22
その他の状態	23
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	23
お問い合わせになる前に	23
付録 B 安全にお使いいただくためのご注意	24
プリントヘッド	24
場所	24
電源	24
その他の注意事項	25
付録 C 技術仕様	26
サーマルレシートプリンター	26
ペーパーカッターの仕様	28
用紙の仕様	28
推奨される用紙供給元	28
マーク付き用紙のパラメーター	29
付録 D ボタンによるメインメニューの設定	30
[Configuration] (設定) メニュー	30
[Communication] (通信) メニュー	31
[USB interface] (USB インターフェイス) メニュー	31
[Serial interface] (シリアル インターフェイス) メニュー	31
[Baud rates] (ボー レート) メニュー	31
[Parity] (パリティ) メニュー	32
[Data bits] (データ ビット) メニュー	32
[Stop bit(s)] (ストップ ビット) メニュー	32
[Handshaking] (ハンドシェイク) メニュー	32
[Data receive error] (データ受信エラー) メニュー	33
[RX Buff size] (RX バッファ サイズ) メニュー	33
[Mechanism and hardware settings] (機構およびハードウェア設定) メニュー	33
[Paper mark sensor] (用紙マーク センサー) メニュー	33
[Cutter] (カッター) メニュー	33
[Cut mode] (カット モード) メニュー	34
[Autocut settings] (自動カット設定) メニュー	34
[Buzzer] (ブザー) メニュー	34
[Print settings] (印刷設定) メニュー	34
[Darkness] (濃さ) メニュー	35

[Paper roll width] (ロール紙の幅) メニュー	35
[Left margin] (左マージン) メニュー	35
[Right margin] (右マージン) メニュー	36
[CR command] (CR コマンド) メニュー	36
[Codepage] (コードページ) メニュー	36
[Save paper level] (省スペースレベル) メニュー	36
[Paper sensor settings] (用紙センサー設定) メニュー	37
[Paper low alarm] (用紙切れ間近アラーム) メニュー	37
[Stop printing when paper low] (用紙切れが近いときに印刷を停止) メニュー ..	37
[Paper near end sensor] (用紙切れ間近センサー) メニュー	37
[Set default configuration] (初期設定に戻す) メニュー	37
[Font A/Font B settings] (フォント A/フォント B 設定) メニュー	38
[Beep settings] (ビープ設定) メニュー	38
[Beep mode] (ビープモード) メニュー	38
[Test page settings] (テストページ設定) メニュー	38
[E05 configuration] (E05 構成) メニュー	39

1 製品の特長




BTP-S81 サーマルレシートプリンターは、高度なサーマルレシート印刷用に設計され、広く利用されています。このプリンターは、無線 LAN 経由の接続に加えて、シリアル、パラレル、USB、Bluetooth、および Ethernet ケーブル経由でも他のデバイスに接続できます。ドライバーが提供されるオペレーティングシステムは、Windows® 2000 / XP / Server 2003 / Vista / Server200 / Win7 / Win8 / Win8.1 / Win10 / Server 2012、POSReady2009 / POSReady7、Linux、Mac、および UPOS ミドルウェアなどです。

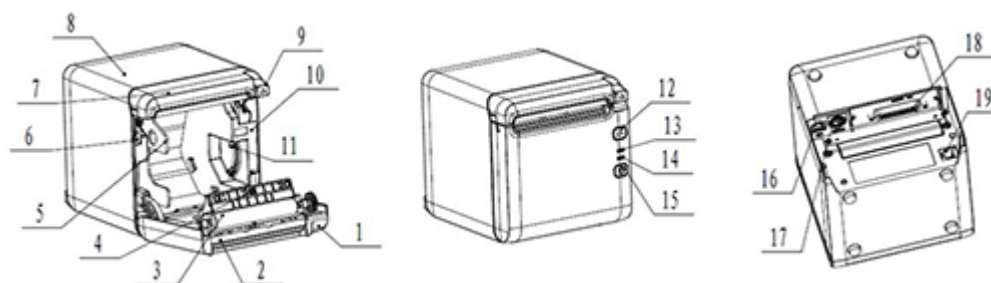
 **注記：** Windows および Linux システム用のドライバーは、これらのオペレーティングシステムの 64 ビット版をサポートします。

このプリンターの特長は以下のとおりです。

- 低ノイズ、高速印刷
- 連続用紙およびマーク付き用紙をサポート
- 省スペース、透かし、上下反対、2 色印刷など、複数の印刷モードをサポート
- コンパクトサイズ
- ユーザーのニーズに合わせて、前面または上部から用紙を出力可能
- 豊富なインターフェイス。USB（ボードに固定）、拡張可能なシリアル / パラレル / Ethernet / Bluetooth / 無線 LAN / シリアル + Ethernet インターフェイス

 **注記：** このユーザーガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。お使いの製品の最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。【ユーザーガイド】を選択します。

プリンターの各部



名称	説明	
1	レシートカバー	
2	カッター	
3	プラテンローラー	
4	用紙切れセンサー	ロール紙の状態を検出します
	用紙マークセンサー (図には示されていません)	
	用紙マークセンサーカバー (図には示されていません)	
5	用紙ガイド	キャビネット内の用紙ガイドの位置を調整して、58~80 mm の範囲のさまざまな用紙幅に対応させることができます。用紙ガイドを取り外すと、プリンターは 82.5 mm の用紙幅に対応します
6	マイクロスイッチ	
7	カッターカバー	
8	中央カバー	
9	カバー開放レバー	
10	用紙キャビネット	
11	用紙切れ間近センサー	連続用紙を使用する場合は、用紙の有無を検出します。マーク付き用紙を使用する場合は、用紙のマークを検出します
12	給紙ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 給紙：給紙ボタンを押すと、給紙が行われます。継続的に給紙するには、目的の長さの用紙がプリンターから排出されるまでボタンを押し続けます 設定サンプルの印刷：給紙ボタンを押しながら電源をオンにすると、印刷幅や印刷速度などの仕様が記載された設定サンプルが印刷されます ボタン設定モードへの切り替え：給紙ボタンを押しながら電源をオンにして、設定サンプルを印刷します。プリンターは一時停止状態になり、用紙を切断した後にエラーランプが点滅します。このときに給紙ボタンを押し続けると、プリンターはボタン設定モードになります カッターエラーのクリア：カッターエラーが発生した場合は、少しの間このボタンを押します。プリンターはカッターエラーを自動的にクリアしようとします

名称	説明
13 エラーランプ	消灯：プリンターは正常に動作しています すばやく点滅：まもなく用紙切れになりますので、それまでにロール紙を交換する必要があります。用紙を使い切るまでは、プリンターは正常に動作します
14 電源ランプ	点灯：プリンターの電源がオンになっています 消灯：プリンターの電源がオフになっています
15 電源ボタン	ボタンを押すと電源が接続されます。電源を切断するには、電源ランプが消灯するまでボタンを押します
	背面カバー（図には示されていません）
16 USBポート	
17 電源コネクタ	
18 通信インターフェイス	
19 キャッシュドロアーインターフェイス	

ランプおよび音による状態インジケータ

このプリンターにはエラーランプおよびビープ音アラームが搭載されています。詳しくは、[19 ページのエラーランプおよびビープ音](#)を参照してください。ビープ音アラームは初期設定で無効になっています。詳しくは、[13 ページのプリンターの設定](#)を参照してください。

2 プリンターのセットアップ

プリンターの設置場所の選択

このプリンターは狭い場所にも設置できるため、POS コンピューターの上や近くにも設置できます。

ほこりの多い環境、または飲み物やその他の液体がこぼれる可能性のある場所にはプリンターを設置しないでください。プリンターは安定した平らな場所に置き、用紙を交換するためにレシートカバーを開いたり、プリンターの背面にアクセスしたりできる空間を確保します。

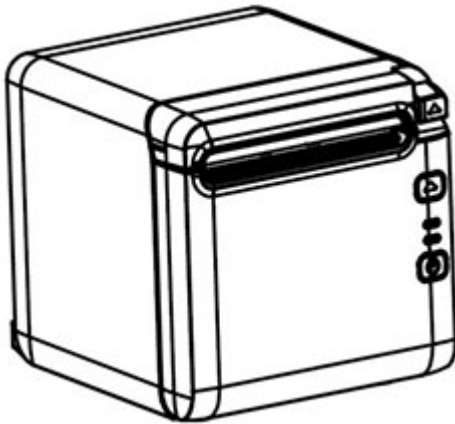
プリンターの背後には、ケーブルの接続および配線ができるように十分空間を確保してください。

プリンターの設置

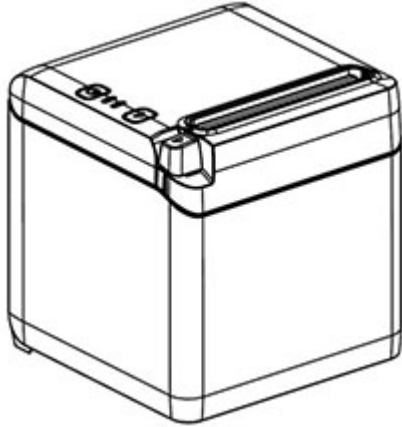
プリンターが正常に動作するように、プリンターの設置時には以下のガイドラインに従ってください。

- BTP-S81 プリンターは、プリンターの上面または前面からレシートを印刷できます。プリンターを台の上に寝かせて設置する場合は、傾斜角度が5度を超えないようにしてください。5度を超えると、用紙切れ間近センサーは正常に機能しません。

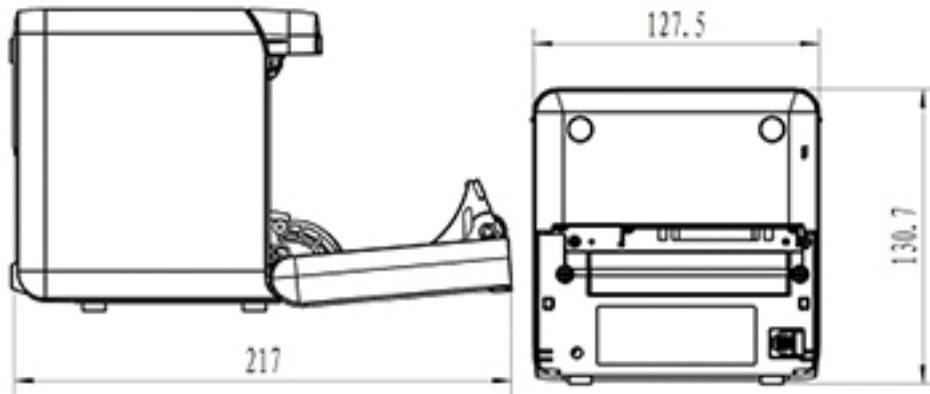
前面から出力する場合の設置：



上面から出力する場合の設置：



- プリンターを水気のある場所には設置しないでください。
- 振動または衝撃が加わるおそれがある場所にプリンターを設置しないでください。
- プリンターの電源が正しくアース（接地）されていることを確認してください。
- プリンターと垂直面の間適切なスペースを確保してください。



新しいレシート用紙のセット

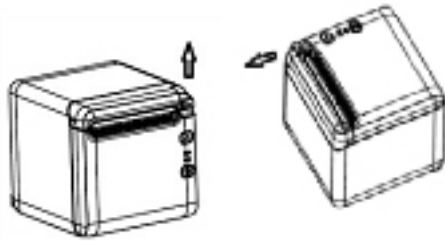
エラーランプが点滅したら、処理の途中で用紙切れにならないように、できるだけ早く用紙を交換してください。

ステータス/エラーランプがすばやく点滅しているときは、用紙が切れています。用紙をすぐに交換しないと、データが失われる可能性があります。このプリンターでは、用紙がないときに受け入れて保存できるデータの量が限られています。バッファ内でメモリの過負荷が発生した場合は、データが完全に失われる可能性があります。

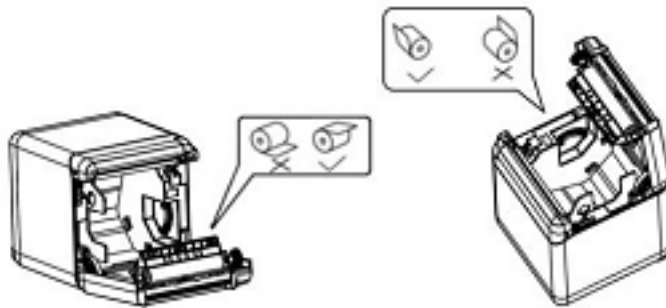
新しいレシート用紙をセットするには、以下の操作を行います。

1. プリンターの電源を切ります。

2. 以下の図に示されている方向にレバーを押してレシートカバーを開きます。



3. ロール紙の回転方向がプリンターの向きに対応していることを確認して、プリンター内に新しいロール紙をセットします。



4. 使用する感熱紙の種類に対応した位置に用紙ガイドを取り付けます。

感熱紙の幅	用紙ガイドの取り付け位置
57.5 mm	57.5
80 mm	80
82.5 mm	ガイドを取り外します

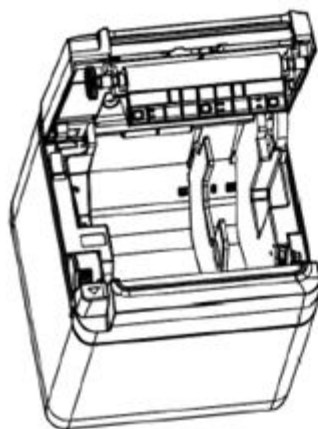


図4.4-4 57.5の位置

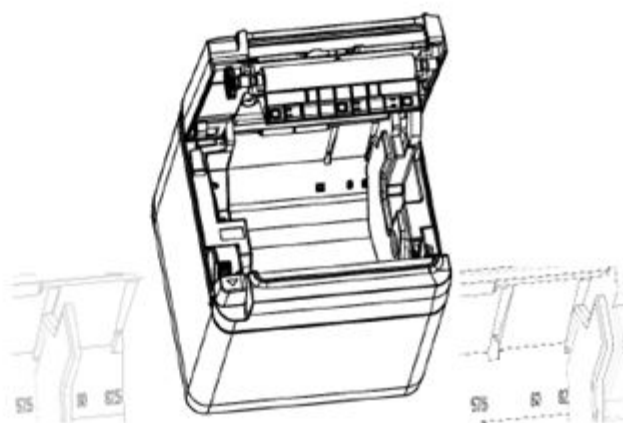
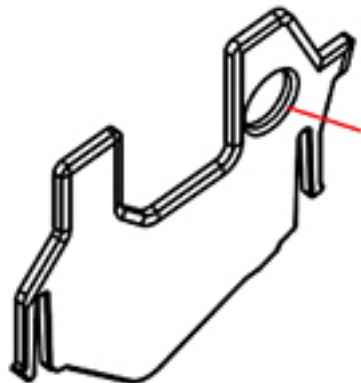



図4.4-5 80の位置


5. 用紙ガイドを取り外す場合は、まず操作用の穴がある側を取り外します。用紙ガイドを取り付ける場合は、この手順を逆の順序で行います。操作用の穴の位置を以下の図に示します。



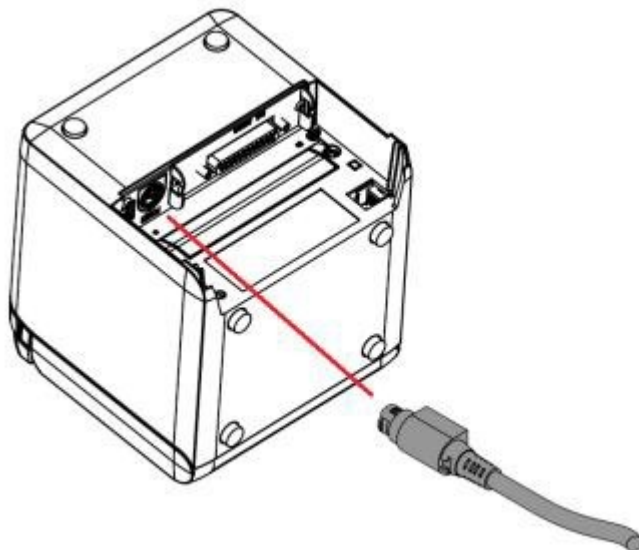
6. 必要に応じて、給紙ボタンを押して用紙を送ります。
7. レシートカバーを閉じます。

ケーブルの接続

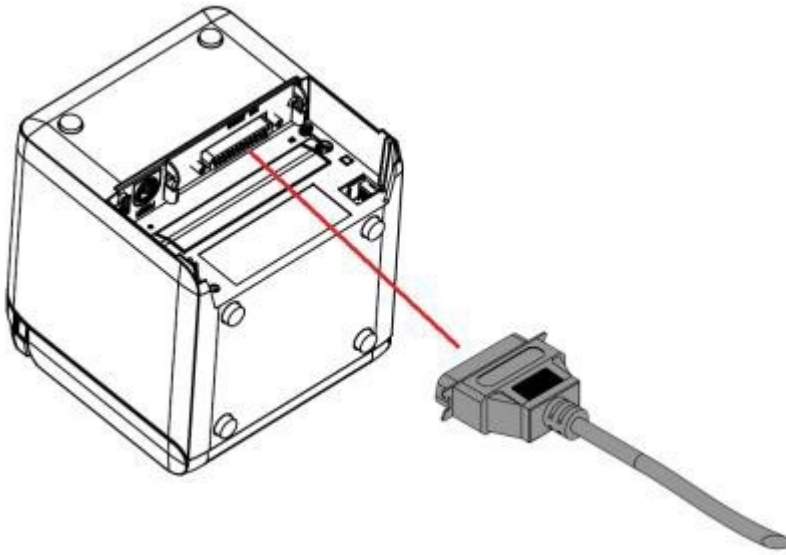
 **注記:** プリンターをケーブルが届く安定した平らな場所に置き、レシートカバーを開けることができる空間を十分に確保します。人が通る場所から離して設置すると、プリンターの接続が切断されたり、プリンターが損傷したりする可能性が低くなります。

 **重要:** ケーブルをプリンターに接続してから、プリンターおよび接続されたデバイスの電源を入れます。ケーブルを接続するときには、接続されたデバイスの電源を必ず切っておく必要があります。

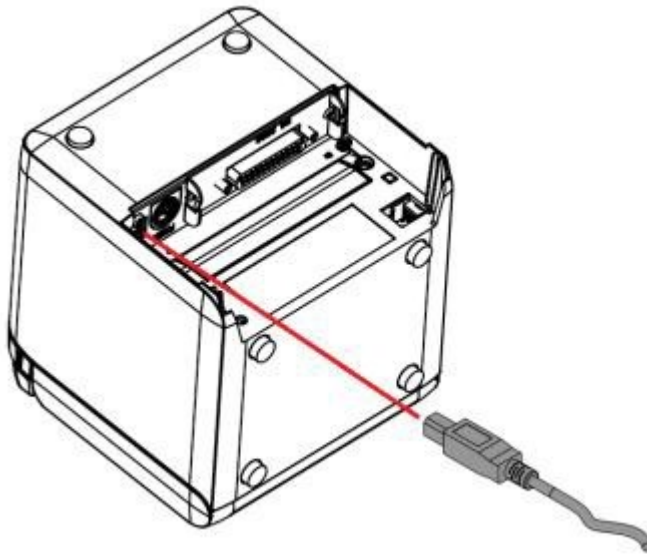
1. プリンターおよび接続されたデバイスの電源を切ります。
2. 電源コードを電源コネクタに接続します。



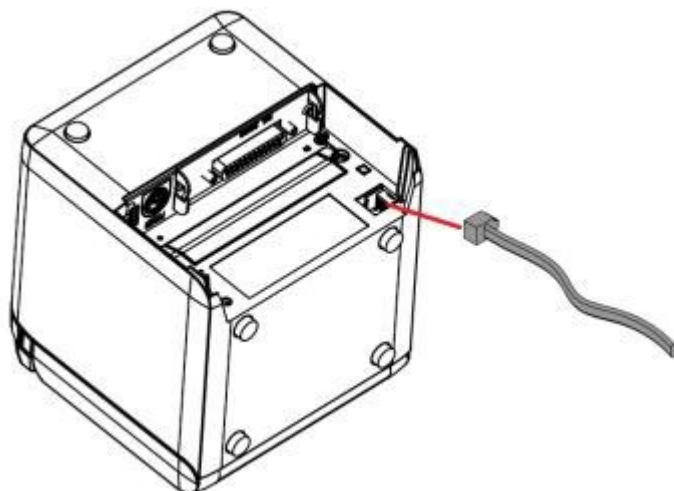
3. インターフェイスケーブルをプリンターに接続し、必要に応じてネジまたはバネで固定します。



4. USB ケーブルをプリンターの USB ポートに接続します。



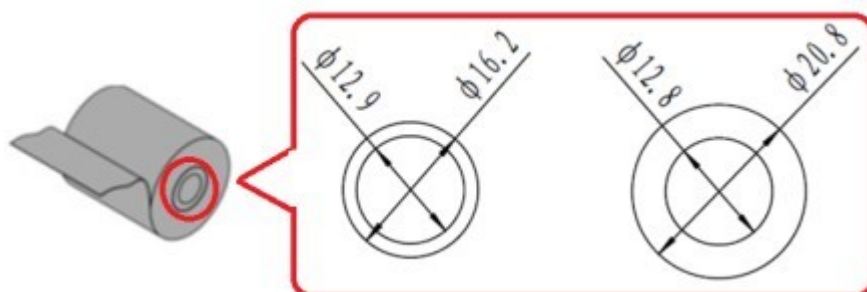
5. キャッシュドローアケーブルをプリンターに接続します。



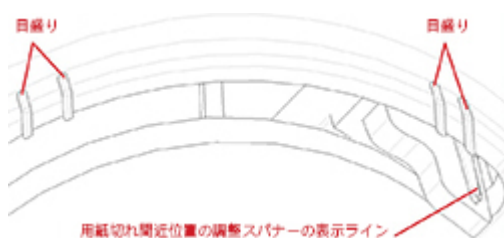
注記： キャッシュドローアポートはキャッシュドローアの接続にのみ使用でき、他のデバイスの接続には使用できません。

用紙切れ間近位置の調整

プリンターの用紙切れ間近位置センサーは、上面印刷および前面印刷の2つの構成に合わせて調整できます。両方の構成にはそれぞれ2つの調整設定があり、印刷に使用するロール紙の軸芯の外径に応じて選択します。



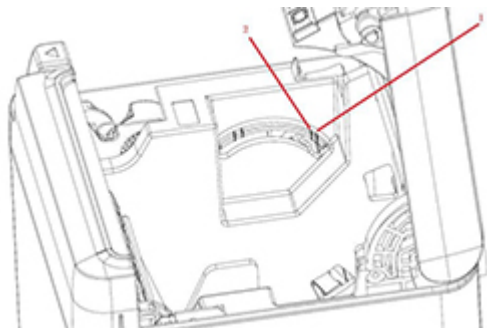
用紙切れ間近位置はプリンターの向きに応じて調整します。



上面印刷

プリンターの上部からレシートを印刷するように構成する場合、用紙切れ間近位置は位置 1 または位置 2 のどちらかに調整します。

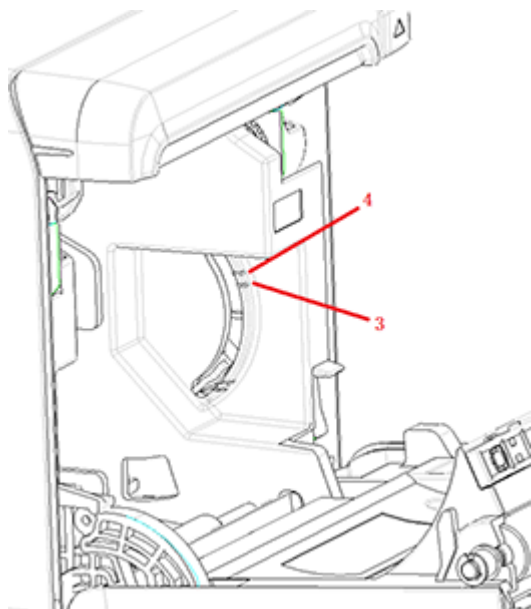
- 軸芯の外径が 16.2 mm のロール紙を使用する場合は、プリンターを位置 1 に調整します。
- 軸芯の外径が 20.8 mm のロール紙を使用する場合は、プリンターを位置 2 に調整します。



前面印刷

プリンターの前面からレシートを印刷するように構成する場合、用紙切れ間近位置は位置 3 または位置 4 のどちらかに調整します。

- 軸芯の外径が 20.8 mm のロール紙を使用する場合は、プリンターを位置 3 に調整します。
- 軸芯の外径が 16.2 mm のロール紙を使用する場合は、プリンターを位置 4 に調整します。




プリンターのテスト


このテスト手順を実行すると、プリンター設定の完全な一覧が診断フォームに印刷され、用紙が部分的に切断されます。テスト印字出力の末尾に、設定メニューへの移り方が記載されています。設定メニューでは、プリンターの現在の設定を変更できます。

この印字出力は、問題が発生した場合にサービス担当者による問題解決に役立てられます。テスト印字出力の文字が欠けている場合または色が薄い場合は、[19 ページの「トラブルシューティング」](#)を参照してください。

電源投入およびセルフテストの手順

1. プリンターを適切な電源に接続し、そのプリンターがオフになっていることを確認します。
2. 給紙ボタンを押しながら電源をオンにしてから、給紙ボタンを放します。プリンターの設定情報と、追加の印刷テストのための2つのメッセージが印刷されます。
 - 文字を印刷するには、給紙キーを押して放します。文字テストサンプルが印刷され、セルフテストが完了します。
 - プリンターを設定するには、給紙キーを押し続けます。プリンターは設定モードになります。詳しくは、[13 ページのプリンターの設定](#)を参照してください。

 **注記：**設定モードに切り替えると、プリンターは一時停止状態になり、エラーランプが点滅します。

 **注記：**プリンターの設定のどれかを変更する場合は、プリンターのパフォーマンスに影響を与える可能性がある他の設定を間違えて変更しないように、細心の注意を払ってください。

16 進数ダンプモードの使用

16 進数ダンプモードに入るには、以下の操作を行います。

1. レシートカバーを開け、給紙ボタンを押しながらプリンターの電源を入れます。エラーランプが点滅してプリンターのビープ音が鳴ったらボタンを放します。
2. 「GS (A) コマンドを送信します。
3. プリンターは 16 進数ダンプサンプルを印刷します。

```
Hexadecimal Dump
To terminate hexadecimal dump,
press FEED button three times.

1B 21 00 1B 26 02 40 40 1B 69      . ! . . & . @ @ . i
1B 25 01 1B 63 34 00 1B 30 31      . % . . c 4 . . 0 1
41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A      A B C D E F G H I J

*** completed ***
```


4. プリンターの電源を切って再起動し、給紙ボタンを3回押して、16 進数ダンプモードを終了します。

16 進数ダンプモードに関して、重要な追加情報を以下に示します。

- 16 進数データに対応する ASCII 文字がない場合、印刷サンプルには「」が表示されます。
- 16 進数ダンプモードで有効なコマンドは、DLE EOT、DLE ENQ、または DLE DC4 のみです。
- 最後の文字行のデータを印刷するには、給紙ボタンを押します。

プリンターの設定項目

プリンターの機能およびパラメーターは工場出荷時にあらかじめ設定されていますが、これらの設定を手動で変更できます。このメニューにアクセスするための手順は、テスト印字出力レシートの下部に記載されています。


 **注記：** プリンターの設定のどれかを変更する場合は、プリンターのパフォーマンスに影響を与える可能性がある他の設定を間違えて変更しないように、細心の注意を払ってください。


この項目別に印刷する設定メニューでは、以下の機能およびパラメーターを変更できます。

- Print self test (印刷セルフテスト)
- Configuration (設定)
 - Exit without save (保存しないで終了)
 - Exit with save (保存して終了)
 - Communication (通信)
 - USB interface (USB インターフェイス)
 - Win driver mode (Win ドライバー モード)
 - API mode (API モード)
 - Serial interface (シリアルインターフェイス)
 - Baud rates (ボーレート)
 - Parity (パリティ)
 - Data bits (データビット)
 - Stop bit(s) (ストップビット)
 - Handshaking (ハンドシェイク)
 - Data receive error (データ受信エラー)
 - RX buff size (RX バッファ サイズ)
 - Mechanism and hardware (機構およびハードウェア)
 - Mark sensor (マークセンサー)
 - Cutter (カッター)
 - Cut mode (カットモード)
 - Auto cut settings (自動カット設定)
 - Buzzer (ブザー)

- Print settings (印刷設定)
 - Darkness (濃さ)
 - Paper roll width (ロール紙の幅)
 - Left margin (左マージン)
 - Right margin (右マージン)
 - CR command (CR コマンド)
 - Code page (コード ページ)
 - Save paper level (省スペース レベル)
- Paper sensor settings (用紙センサー設定)
 - Paper low alarm (用紙切れ間近アラーム)
 - Stop print when paper low (用紙切れが近いときに印刷を停止)
 - Paper near end sensor (用紙切れ間近センサー)
- Set default configuration (初期設定に戻す)
- FONTA/FONTB settings (フォント A/フォント B 設定)
- Beep settings (ビープ設定)
- Test page settings (テスト ページ設定)
 - Sensor Test Mode (センサー テスト モード)
 - Print NV Bitmap (NV ビットマップを印刷)
 - Cutter Test (カッター テスト)
 - Print Statistics (印刷統計)
 - E05 Configuration (E05 構成) (一部の製品のみ)

プリンターの設定

 **注記:** プリンターの設定のどれかを変更する場合は、プリンターのパフォーマンスに影響を与える可能性がある他の設定を間違えて変更しないように、細心の注意を払ってください。

 **注記:** メインメニュー全体および各設定の詳細については、[30 ページの「ボタンによるメインメニューの設定」](#)を参照してください。

1. レシートカバーを開きます。用紙がない場合は、用紙のセット手順に沿って操作してください。
2. 背面が自分の側を向くようにプリンターを回転させます。
3. プリンターの電源がオフになっていることを確認し、給紙ボタンを押しながらプリンターの電源をオンにします。印刷が開始されたらボタンを放します。

4. セルフテスト印刷を実行するには、給紙ボタンを押して放します。設定メニューに入るには、給紙ボタンを押し続けます。

Press and Release
FEED to continue
SELF-TEST printing

Press and Hold
FEED to configure
the printer

MAIN MENU

Select a submenu:

Exit	-> 1
Print Self Test	-> 2
Configuration	-> 3
Sensor Test	-> 4
Print NV Bitmap	-> 5
Cutter Test	-> 6
Print Statistics	-> 7

Enter code, then hold Button Down
at least 1 second to validate

5. 給紙ボタンを押して、項目別に印刷されるメニューの説明に沿って操作してください。
 - 番号の選択を示すには、目的の回数だけ給紙ボタンを短く押します。
 - **[Yes]**を示すには、給紙ボタンを長押しします（1秒以上）。
 - **[No]**を示すには、給紙ボタンを短く押します（1秒未満）。
6. **[Save New Parameters?]**（新しいパラメーターを保存しますか?）と尋ねる画面が表示されるまで、メニューの項目を順に選択します。

保存する場合は、**[Yes]**を選択します。次に、リセットボタンを押します。プリンターがリセットされ、新しい選択内容が反映されます。給紙ボタンを押したままにして診断フォームを印刷するか、給紙ボタンを押しながらレシートカバーを開いて閉じると、設定を確認できます。

または

プリンターの設定を続ける場合は、**[No]**を選択します。プリンターの設定メニューに戻り、もう一度パラメーターを設定できます。


3 プリンターの操作

プリンターの問題の回避

プリントヘッドの過熱防止

プリンターに関する問題の最も一般的な原因の1つが、サーマルプリントヘッドの過熱です。過熱を防止するには、以下の操作のうち1つまたは複数を実行します。


1. レシート印刷時にベタ印刷の比率を減らします。
2. 連続印刷の時間（「負荷サイクル」とも呼ばれます）を減らします。負荷サイクルとは、プリンターが60秒間に実際に印刷できる時間の割合です。プリンターの負荷サイクルは、そのプリンターが設置されている場所の温度およびベタ印刷の比率によって変動します。
3. プリンターが設置されている場所の温度を下げます。プリンターが直射日光の当たる場所にあるか、暖房器具や加熱灯など熱源の近くにある場合は、温度に影響する場合がありますので、ご注意ください。

 **重要：**プリントヘッドが65℃になると、温度が下がるまで印刷は停止します。これによって、プリントヘッドが損傷するおそれがあります。

厳しい環境の回避

プリンターは耐久性のある装置であり、一定の物理環境に対する耐久性を備えています。ただし、プリンター内部の機械部品は、特に住宅リフォーム店、園芸店、および倉庫などの場所で、ほこりおよび空中を浮遊する化学物質に対して脆弱です。このような環境では、プリンターが常に正しく動作するように、プリンターを定期的に清掃する必要があります。プリントヘッド、センサー、キャリッジシャフト、および両方のプリンター機構を定期的に検査し、全体的な清掃を行うことをおすすめします。

用紙

 **重要：**プリンター用に認定されていない用紙を使用すると、プリンターが損傷したりすべての保証が無効になったりする場合があります。詳しくは、[28ページの用紙の仕様](#)を参照してください。

プリンターの清掃

プリンターを清掃するときは、以下の推奨事項に留意してください。


- 日常的なメンテナンスを行う前に、プリンターの電源がオフになっていることを確認してください。
- ガソリンやアセトンのような有機溶剤は使用しないでください。
- センサーを清掃する場合は、純アルコールまたはその他の洗浄液が完全に揮発するまでプリンターの電源を入れないでください。
- メンテナンスサイクルは1か月を超えないようにすることをおすすめします。

プリンターのキャビネットの清掃

必要に応じて、プラスチック製品向けの家庭用洗剤を使用して、キャビネットの外側を清掃します。最初に、目立たない狭い範囲で洗剤を試すことをおすすめします。また、軽く湿らせた清潔な布で用紙挿入部を拭きます。キャビネットの素材および仕上げは、洗浄液、潤滑剤、燃料、調理用油、および紫外線に対して耐性があります。

プリントヘッドおよびプラテンローラーの清掃

 **注意：** 火傷の危険があるため、プリントヘッドには触れないでください。


 **重要：** スプレー式のクリーナーでプリンターの内側を清掃しないでください。指示がある場合を除き、プリントヘッドを清掃しないでください。また、プリントヘッドにスプレーがかからないようにしてください。これによって、内部の電子部品またはプリントヘッドが損傷するおそれがあります。プリントヘッドが汚れている場合は、イソプロピル（消毒用）アルコールで湿らせた綿棒またはアルコールペンを使用して拭いてください。プリンターが損傷するおそれがありますので、プリンターの他の部分を清掃するために消毒用アルコールを使用しないでください。

重要： 通常、推奨されるグレードの用紙を使用している場合は、プリントヘッドを清掃する必要がありません。推奨されていない用紙を長期間使用している場合は、プリントヘッドを清掃しても印刷品質が向上することはほとんどなく、紙詰まり等の損傷が発生し、保証サービスを受けられなくなる可能性があります。

サーマルプリントヘッドの清掃後に印刷ムラができたり印刷が薄くなったりする問題が続く場合は、プリント機構の取り替えが必要になる場合があります。

プリントヘッドおよびプラテンローラーを清掃するには、以下の操作を行います。

1. プリンターの電源を切り、レシートカバーを開きます。
2. 印刷が完了した直後である場合は、プリントヘッドの温度が完全に下がるまで待ちます。
3. 綿の布およびアルコール系の洗浄液を使用して、プリントヘッドおよびプラテンローラーの表面からほこりや汚れを拭き取ります。


 **重要：** 洗浄液で綿の布を濡らしすぎないようにしてください。

4. アルコールが完全に揮発したら、レシートカバーを閉じます。

マークセンサーの清掃

プリンターがマークを効果的に特定できない場合は、マークセンサーを清掃する必要があります。以下の手順に沿って清掃します。

1. プリンターの電源を切ります。
2. カバー開放レバーを押し、レシートカバーを開きます。
3. センサーのカバーを取り外します。
4. 綿の布およびアルコール系の洗浄液を使用して、センサーの表面からほこりや汚れを拭き取ります。

 **重要：** 洗浄液で綿の布を濡らしすぎないようにしてください。

5. 洗浄液が完全に揮発したら、センサーのカバーを取り付けなおし、レシートカバーを閉じます。

紙くずの除去

半年に1回程度、エアダスターまたはファンを使用してプリンターから紙くずを吹き飛ばし、紙くずを除去することをおすすめします。

紙詰まりの除去

レシート用紙の紙詰まりを取り除くには、以下の操作を行います。

1. プリンターの電源を切り、カバー開放レバーを押しレシートカバーを開きます。
2. 詰まったレシート用紙を取り除いてから、レシートカバーを閉じます。
3. プリンターの電源をオンにします。カッターは自動的にリセットされます。

紙詰まりを除去した後にカッターが自動的にリセットされない場合は、以下の操作を行います。

1. プリンターの電源を切ってから、カッターカバーを取り外します。



2. カバー開放レバーを押し、レシートカバーを開きます。
3. 詰まった紙をプリンターから取り除きます。
4. カッターカバーを取り付けなおし、レシートカバーを閉じます。
5. プリンターの電源をオンにします。カッターは自動的にリセットされます。

A トラブルシューティング

このプリンターは、定期的な保守がほとんど必要ないように設計されています。しかし、実際に問題が発生した場合は、以下に示す状態インジケーターランプを確認し、この付録の該当する項目を参照することで、問題の診断が容易になります。

以下のページでは、一般的に発生する可能性があり、ユーザーが簡単に解決できる状態について説明しています。一部の問題では、HP POS システム製品のサポート窓口へのお問い合わせが必要になる場合があります。以下の状態の多くは、サポートを受けなくても解決できます。ただし、その状態が解決されない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

エラーランプおよびビープ音

プリンターでエラーが発生した場合、エラーランプが点滅し、1回または連続したビープ音が聞こえることがあります。ビープ音アラームは初期設定で無効になっています。詳しくは、[13 ページのプリンターの設定](#)を参照してください。

ランプ	ビープ音	エラーの説明
6 回点滅	6 回鳴る	プリントヘッドが過熱状態になっている 注意: プリントヘッドの温度は感温抵抗器によって検知されます。プリントヘッドが過熱状態になった場合、保護回路によって自動的に電源が切断され、印刷は強制的に停止します。印刷が停止するプリントヘッドの温度は、65°C です
5 回点滅	5 回鳴る	プリンターの電圧が異常な状態である <ul style="list-style-type: none">電源コードがしっかりと接続されていて、適切な種類の電源コンセントに外部電源アダプターを接続していることを確認します
4 回点滅	4 回鳴る	カッターエラー <ul style="list-style-type: none">22 ページのカッターエラーを参照してください
3 回点滅	3 回鳴る	プリントヘッドが浮き上がっている <ul style="list-style-type: none">プリンターのレシートカバーを完全に閉じます
2 回点滅	2 回鳴る	用紙切れ <ul style="list-style-type: none">ロール紙を交換します
ゆっくり点滅	ビープ音なし	用紙切れ間近 <ul style="list-style-type: none">ロール紙を交換します
ゆっくり点滅	ビープ音なし	マークが見つからない、またはマーク調整エラー <ul style="list-style-type: none">マーク付き用紙のパラメーターが正しいことを確認してください。29 ページのマーク付き用紙のパラメーターを参照してください

通常の実処方法

予想外の状態が発生した場合は、以下の一般的な手順に沿って実処します。

1. プリンターの電源を入れなおして、動作に注意します。
2. エラーランプを確認し、前の表に示された状態と比較します。
3. サンプルのテスト印刷を実行してプリンターをテストします。[11 ページのプリンターのテスト](#)を参照してください。これによって、発生しているエラーに関する追加情報が得られます。
4. 次のセクションのトラブルシューティングの表を参照してください。

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

ビープ音

ビープ音	考えられる原因	解決方法
最初に電源を投入したとき、ビープ音が1回、2回または3回ずつのパターンで鳴る。エラーランプが同じパターンで点滅し、プリンターに電源が入らない	プリンターの電子部品に問題が発生している	HP POS システム製品のサポート窓口にお問い合わせください
通常の動作中にプリンターからビープ音が鳴る	POS コンピューターで使用されているソフトウェアアプリケーションによって、プリンターの通常の動作中にビープ音が鳴るようにプログラムされている	お使いのアプリケーションソフトウェアの説明書を参照してください

プリンターから印字されない

エラーインジケーター	考えられる原因	解決方法
エラーランプが点滅している	<ul style="list-style-type: none">● レシート用紙が切れている● レシートカバーが開いている● カッターが動かない● 電源が通常の範囲を超えている● プリントヘッドの温度が通常の範囲を超えている	レシート用紙が正しくセットされ、カバーが閉じていることを確認します。この付録の最初にある状態インジケーターの表を参照してください。問題が解決されない場合は、HP POS システム製品のサポート窓口にお問い合わせください
電源ランプがオフになっている	電源装置に欠陥がある	電源装置が接続されていても電源が入らない場合は、新しい電源装置を購入する必要があります。サービス担当者に問い合わせてください

エラー インジケータ	考えられる原因	解決方法
プリンターの電源が入っているが、正しく印刷できない	ケーブルが正しく接続されていない	すべてのケーブル接続を確認します。ホスト コンピューターと電源装置の両方がオンになっていることを確認します（電源装置をオンにするには、電源コンセントに接続します）。プリンターの電源が入っていることを示す緑色の電源ランプを確認します
	他の原因に対する解決方法では、問題が解決しない	HP POS システム製品のサポート窓口にお問い合わせください

エラー ランプが点滅している

考えられる原因	解決方法
レシート用紙が切れている	すぐに用紙を交換します。用紙のない状態で処理を完了しようとしないでください。データが失われる可能性があります
レシートカバーが開いている	レシートカバーを閉じます。カバーが開いていると、プリンターが動作しません
カッターが動かない	レシートカバーを開き、カッターを確認します。カバーが開かない場合は、無理に開けようとしないでください。詰まっている紙が確認できる場合は、取り除きます。カバーのカッターを使用して、用紙の余分な部分を切って取り除きます
キャリッジが動かない	レシートカバーを開き、用紙を挿入口から取り除きます
レシートの用紙切れが近い	用紙の残りは 5~10m です。処理の途中で用紙切れにならないように、すぐに用紙を交換してください。詳しくは、 5 ページの新しいレシート用紙のセット を参照してください
サーマルプリントヘッドの温度が通常の範囲を超えている	推奨動作温度より高温の室内で印刷しているとき、または室温にかかわらず、高密度のグラフィックスを連続して印刷しているときは、プリントヘッドが過熱することがあります。どちらの場合も、プリンターの電源が切れます。プリントヘッドの温度が高すぎる場合は、室温を調整するか、プリンターをより涼しい場所に移動します。高密度のグラフィックスの連続印刷が原因でプリントヘッドが過熱している場合は、プリンターへの負荷を少なくします
DC 電源の電圧が通常の範囲を超えている	用紙が少なくなっておらず、サーマルプリントヘッドが熱くなりすぎている兆候がない場合は、電源の電圧が通常の範囲を超えています。HP POS システム製品のサポート窓口にお問い合わせください

印刷品質に関する問題

品質の問題	考えられる原因	解決方法
レシートに色付きの縞模様が印刷される	用紙切れが近い	用紙を交換します
レシートが最後まで出てこない	用紙が詰まっている	レシートカバーを開き、カッターを調べて、詰まっている用紙を取り除きます
プリンターで印刷は開始されるが、停止する	レシートを印刷している途中で、用紙が詰まった	レシートカバーを開き、カッターを調べて、詰まっている用紙を取り除きます
印刷が薄い、または印刷ムラがある	ロール紙が正しくセットされていない	用紙が正しくセットされていることを確認します
	サーマルプリントヘッドが汚れている	推奨されているサーマルレシート用紙を使用します。認定されている用紙に戻す前に、アルコールペンでサーマルプリントヘッドを清掃します サーマルプリントヘッドに家庭用洗剤を吹きかけないでください。プリントヘッドおよび電子部品が損傷するおそれがあります。通常、推奨されるグレードの用紙を使用している場合は、サーマルプリントヘッドを清掃する必要がありません。推奨されていない用紙を長期間使用している場合は、プリントヘッドをアルコールペンで清掃しても印刷品質が向上することはありません
	プリントヘッドに欠陥がある	HP POS システム製品のサポート窓口にお問い合わせください
縦の罫線が印刷されない、レシートの片側が印刷されない、または、文字の上半分または下半分が印刷されない	プリントヘッドに欠陥がある	HP POS システム製品のサポート窓口にお問い合わせください
	プリントヘッドの設定が正しくない	診断の設定を確認します

カッターエラー

エラー	考えられる原因	解決方法
レシートがカットされない	用紙が詰まっている	レシートカバーを開き、カッターを調べて、詰まっている用紙を取り除きます
その他のすべての問題	原因がわからない	HP POS システム製品のサポート窓口にお問い合わせください

その他の状態

以下の問題はすべて、HP POS システム製品のサポート窓口による解決が必要です。

- プリンターが切り替わらない、または停止しない。
- プリンターが判読できない文字を印刷する。
- 給紙されない。
- カッターが動かない、またはカットを行わない。
- プラテンが開かない、または閉じない。
- プリンターが POS コンピューターと通信しない。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]から HP へのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。

お問い合わせになる前に

問題が解決しない場合は、テクニカルサポートも利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- プリンターのモデル番号およびシリアル番号
- HP POS コンピューターに接続されている場合、POS コンピューターのシリアル番号を準備してください
- 購入年月日および購入店名
- 製品のラベルにある交換部品番号
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン

B 安全にお使いいただくためのご注意

この章には、サーマルレシートプリンターを安全に使用するための重要な情報が記載されています。けがや損傷を防ぐため、この説明には常に従ってください。プリンターを設置して使用する前に、以下の項目をよくお読みください。

プリントヘッド

- プリントヘッドは、静電気の影響を受けやすい熱素子であり、高温で動作します。動作中または動作終了直後には、プリントヘッドおよび周辺機器に触れないでください。
- 印刷の負荷は、許容される品質で印刷できる最低のグレードに設定してください。これによりプリントヘッドの寿命が延びます。

⚠ 注意：レシート用紙がセットされていないときに、印刷を開始しないでください。プリントヘッドおよびプラテンローラーが著しく破損します。

場所

- 安定した平らな場所にプリンターを設置してください。
- 操作およびメンテナンスを行いやすいように、プリンターの周囲には十分なスペースを確保してください。
- プリンターは水気のある場所から離れた場所に設置し、日光、強力な人工光、および熱に直接さらされないようにします。
- 高温や湿気、深刻な汚染にさらされる場所でプリンターを使用または保管しないでください。
- 振動または衝撃が加わる場所にプリンターを設置しないでください。
- 結露のおそれがある場所にプリンターを設置しないでください。結露した場合は、結露が完全に蒸発するまで電源をオンにしないでください。

電源

- 外部電源アダプターを適切な電源コンセントに接続します。単一の電源コンセントを、大型の動力モーターおよび電圧を変動させるおそれがある他のデバイスと共有しないでください。
- プリンターを長期間使用しない場合は、外部電源アダプターを取り外してください。
- 水または金属などの導電体がプリンターに入らないようにしてください。入ってしまった場合は、すぐにプリンターの電源コードを電源コンセントから抜きます。

⚠ 警告！ 水または導電体がプリンターに入った場合は、感電のおそれがありますので、プリンターの側で電源をオフにしないでください。

- プリンターの損傷を防ぐため、ケーブルまたはインターフェイスの取り付けまたは取り外しの前に電源を切ってください。

その他の注意事項

- プリンターのカッターには触れないでください。
- プリンターの耐用期間中の印刷品質および正常な動作を維持するために、推奨される高品質の用紙を使用してください。
- プリンターの分解または修理は、製造元によって認定されているサービス担当者のみが実施できます。
- このガイドは、すぐに参照できる安全な場所に保管してください。

C 技術仕様

サーマルレシートプリンター

説明		仕様
印刷	印刷方式	ダイレクトサーマル式行印刷
	解像度	203 × 203 DPI
		203 × 180 DPI
	用紙幅	57.5/80/82.5 mm
	印刷幅	最大 80 mm
	印刷速度	最大 250 mm/s
	フラッシュロゴ	最大 1 MB
コマンドバッファ領域	64K バイト、4K バイト、または 45 バイト	
インターフェイス	USB	USB 2.0
	シリアルインターフェイス	RS 232C
	パラレルインターフェイス	IEEE 1284
	キャッシュドローア	1 つまたは 2 つのキャッシュドローアを制御するように設定できます
メモリ	フラッシュ : 8 MB	
	RAM : 2 MB	
プリンターの状態の検知	用紙切れセンサー/透かしセンサー 用紙切れ間近センサー カバー位置センサー 用紙有無センサー プリントヘッド温度センサー プリンターの電圧の検知	
カットモード	フルカット 部分カット	
バーコード	1D	UPC-A、UPC-E、CODE 39、CODE 93、CODE 128、EAN8、EAN13、ITF、CODABAR
	2D	PDF417、QR、Maxicode
フォント	フォント A : 12 × 24 フォント B : 9 × 17 漢字フォント A : 24 × 24	
文字セット	95 種類の英数字	

説明	仕様	
		14 種類の国際文字
		128 × 68 コード ページ
		オプション：繁体字中国語、簡体字中国語、(GB2312/18030)、日本語、韓国語、英語
		ユーザー定義フォント (95) およびコード ページ
文字の拡大		すべての文字を水平方向および垂直方向に 1 ~ 6 倍に拡大できます
文字の回転		4 方向 (0 度、90 度、180 度、270 度) に回転印刷
コマンド		ESC/POS 互換
用紙	用紙の種類	連続感熱紙 マーク付き感熱紙
	ロール紙の外径	最大：83 mm
	用紙の厚み	0.06 ~ 0.10 mm の感熱紙
	電源装置	
	入力	100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz
	出力	24 V ± 5% DC、平均電流 2 A
	電源アダプターの位置	外部電源アダプター
ヒューマン マシン インターフェイス	電源スイッチ	搭載
	ボタン	搭載
	ランプ	搭載 (電源ランプおよびエラー ランプを含む)
	ブザー	搭載 (24 V ブザー)
信頼性	プリントヘッドの耐用期間	150 Km 以上 (デューティー比 12.5%の標準的なテストサンプル)
	カッターの耐用期間	2,000,000 回のカット (標準的なテスト条件)
	平均故障間隔 (サイクル) / MCBF	70,000,000 行
	平均故障間隔 (時間) /MTBF	360,000 時間 (メイン制御ボード)
動作時の温度および湿度		5 ~ 45°C、20 ~ 90%RH (40°C)
非動作時の温度および湿度		-40 ~ 60°C、10 ~ 90%RH (40°C)
全体の寸法		127 (奥行き) × 127 (横) × 134 (縦) mm
機能	省スペース	サポート
	ボタンによる設定	サポート(コンピューターなしでプリンターを設定)
	上面方向への印刷	サポート
	透かし印刷	サポート
	グレー スケール印刷	サポート

ペーパーカッターの仕様

仕様	説明	注
カット方式	スライディング ブレード	
カット時間	500 ミリ秒	1 回のカットの時間
カット間隔	3 秒	1 分あたり 20 回のカット (最大)
使用可能な用紙の種類	0.06 ~ 0.10 mm の感熱紙	
動作電圧	24 V DC	
最大動作電流	1.2 A	動作電圧 24 V DC
カッターの耐用期間	2,000,000 回のカット	標準的なテスト条件

用紙の仕様

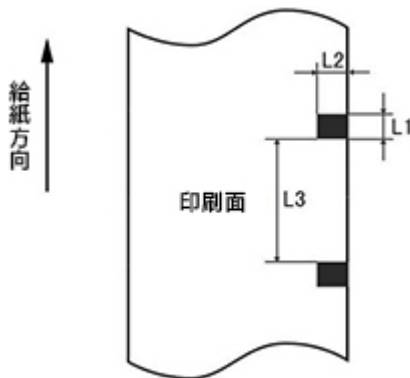
仕様	説明
用紙の種類	感熱紙
用紙供給方法	ロール紙
用紙幅	57.5/80/82.5 mm
用紙の厚み	0.06 ~ 0.10 mm
感熱層	外側
ロール紙	ロール紙の外径最大 ϕ 83 mm、芯の内径最小 ϕ 12.8 mm

推奨される用紙供給元

用紙モデル	製造元
600-3.1	APPLETON Papers Inc (米国)
KLS_46_e	KANZAN Spezialpapiere GmbH (ドイツ)
FD210	王子製紙

マーク付き用紙のパラメーター

このプリンターはマーク付き用紙を使用した印刷に対応しており、カット位置および最初の印刷位置を正確に設定できます。マーク付き用紙は、プリンターの感熱ロール紙の仕様だけでなく、以下の要件も満たす必要があります。



仕様	説明
L1：マークの高さ	$3\text{ mm} \leq L1 \leq 13\text{ mm}$
L2：マークの高さ	$L2 \geq 8\text{ mm}$
L3：マーク間の距離	$30\text{ mm} \leq L3 < 450\text{ mm}$
感熱面のマークセンサーの位置	左/中央/右の位置用に予約
非感熱面のマークセンサーの位置	中央/左/右の位置を選択可能
反射率	黒色のマークの反射率が15%以下で、用紙自体の反射率が85%を超えている必要があります。2つのマークの間に画像がないようにしてください

マーク付き用紙を使用する場合は、以下のガイドラインに留意してください。

- 推奨される用紙または同等の用紙を使用してください。低品質の用紙や質が異なる用紙を使用すると、印刷品質に悪影響を与え、プリントヘッドの寿命が短くなる可能性があります。
- 軸芯に用紙を貼り付けしないでください。
- 用紙が化学物質または油で汚れた場合は、汚れた場所に変色したり熱感度が低下したりして、印刷品質に影響する場合があります。
- 印刷品質の低下を防ぐために、用紙の表面を堅い物体でこすらないでください。
- 環境温度が70℃まで上昇すると用紙が変色します。温度や湿度が高い場所または強い光にさらされる場所では、用紙を使用または保管しないでください。
- マークは印刷時および給紙時に測定されます。センサーによって検出されたマークの高さの値が初期設定値より大きい場合は、プリンターのアラームが鳴り、用紙切れを示します。初期設定の高さの値は13mmです。

D ボタンによるメインメニューの設定

メインメニューにはプリンターの設定オプションが含まれています。給紙ボタンを使用して、目的の選択項目を示します。番号の選択を示すには、目的の回数だけ給紙ボタンを短く押します。

メインメニューオプション	説明	オプション番号
Exit (終了)	メインメニューを終了します	1
Print self-test (印刷セルフテスト)	セルフテストレシートを印刷します	2
Configuration (設定)	プリンター設定メニューに入ります	3
Sensor test mode (センサーテストモード)	センサーテストモードに入ります。エラーランプが変わり、センサーの状態が示されます。詳しくは、 21 ページのエラーランプが点滅している を参照してください。センサーテストモードを終了するには、給紙ボタンを1秒以上押し続けます	4
Print NV bitmap (NV ビットマップを印刷)	NV ビットマップのコピーを印刷します	5
Cutter test (カッターテスト)	カッターテストを実行します	6
Print statistics (印刷統計)	プリンターの使用の統計 (カット回数や電源オン時間などの情報) を印刷します	7
E05 Configuration (E05 構成) (一部の製品のみ)	E05 構成モードメニューに入ります	8

[Configuration] (設定) メニュー

メニューオプション	オプション番号
Exit without saving (保存しないで終了)	1
Exit with saving (保存して終了)	2
Communication (通信)	3
Mechanism and hardware settings (機構およびハードウェア設定)	4
Print settings (印刷設定)	5
Paper sensor settings (用紙センサー設定)	6
Set default configuration (初期設定に戻す)	7
Font A/Font B settings (フォント A/フォント B 設定)	8
Beep settings (ビープ設定)	9
Test page settings (テストページ設定)	10

[Communication] (通信) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
USB interface (USB インターフェイス)	2
Serial interface (シリアル インターフェイス)	3
RX Buff size (RX バッファ サイズ)	4

[USB interface] (USB インターフェイス) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Win driver mode (Win ドライバー モード)	2
API mode (API モード)	3

[Serial interface] (シリアル インターフェイス) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Baud rates (ボーレート)	2
Parity (パリティ)	3
Data bits (データビット)	4
Stop bit(s) (ストップビット)	5
Handshaking (ハンドシェイク)	6
Data receive error (データ受信エラー)	7

[Baud rates] (ボーレート) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
9600 bps	2
19200 bps	3
38400 bps	4
57600 bps	5
4800 bps	6
2400 bps	7

メニュー オプション	オプション番号
1200 bps	8
115200 bps	9

[Parity] (パリティ) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
None (なし)	2
Odd (奇数)	3
Even (偶数)	4

[Data bits] (データ ビット) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
7 bits (7 ビット)	2
8 bits (8 ビット)	3

[Stop bit(s)] (ストップ ビット) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
1 bit (1 ビット)	
2 bits (2 ビット)	

[Handshaking] (ハンドシェイク) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
DTR/DSR	2
XON/XOFF	3

[Data receive error] (データ受信エラー) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Ignored (無視)	2
Print '?' ('?') を印刷)	3

[RX Buff size] (RX バッファ サイズ) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
4K Bytes (4K バイト)	2
45 Bytes (45 バイト)	3
64K Bytes (64K バイト)	4

[Mechanism and hardware settings] (機構およびハードウェア設定) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Paper mark sensor (用紙マーク センサー)	2
Cutter (カッター)	3

[Paper mark sensor] (用紙マーク センサー) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Enable (有効)	2
Disable (無効)	3

[Cutter] (カッター) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Cut mode (カット モード)	2
Autocut settings (自動カット設定)	3
Buzzer (ブザー)	4

[Cut mode] (カットモード) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Enable (有効)	2
Disable (無効)	3
Full cut mode (フルカットモード)	4
Partial cut mode (部分カットモード)	5
Default cut mode (初期設定のカットモード)	6

[Autocut settings] (自動カット設定) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Cut paper when receipt cover is closed (レシートカバーを閉じたときに用紙をカット)	2
Do not cut paper when receipt cover is closed (レシートカバーを閉じたときに用紙をカットしない)	3
Cut paper when power on (電源をオンにしたときに用紙をカット)	4
Do not cut paper when power on (電源をオンにしたときに用紙をカットしない)	5
Disable (無効)	6

[Buzzer] (ブザー) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Enable (有効)	2
Disable (無効)	3

[Print settings] (印刷設定) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Darkness (濃さ)	2
Paper roll width (ロール紙の幅)	3
Left margin (左マージン)	4
Right margin (右マージン)	5

メニュー オプション	オプション番号
CR command (CR コマンド)	6
Codepage (コードページ)	7
Save paper level (省スペース レベル)	8

[Darkness] (濃さ) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Low (低い)	2
Normal (標準)	3
High (高い)	4
Extra high (非常に高い)	5

[Paper roll width] (ロール紙の幅) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
57.5 mm	2
80 mm	3
82.5 mm	4

[Left margin] (左マージン) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
0 mm	2
1 mm	3
3 mm	4
5 mm	5
7 mm	6
9 mm	7

[Right margin] (右マージン) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
0 mm	2
1 mm	3
3 mm	4
5 mm	5
7 mm	6
9 mm	7

[CR command] (CR コマンド) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Enable (有効)	2
Disable (無効)	3

[Codepage] (コードページ) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Print all codepages (すべてのコードページを印刷)	2
Select a codepage (コードページを選択)	3

[Save paper level] (省スペース レベル) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Disable (無効)	2
25%	3
50%	4
75%	5
100%	6

[Paper sensor settings] (用紙センサー設定) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Paper low alarm (用紙切れ間近アラーム)	2
Stop printing when paper is low (用紙切れが近いときに印刷を停止)	3
Paper near end sensor (用紙切れ間近センサー)	4

[Paper low alarm] (用紙切れ間近アラーム) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Enable (有効)	2
Disable (無効)	3

[Stop printing when paper low] (用紙切れが近いときに印刷を停止) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Enable (有効)	2
Disable (無効)	3

[Paper near end sensor] (用紙切れ間近センサー) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Enable (有効)	2
Disable (無効)	3

[Set default configuration] (初期設定に戻す) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Set printer to default configuration (プリンターを初期設定の構成に設定)	2

[Font A/Font B settings] (フォント A/フォント B 設定) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Select FONTA (フォント A を選択)	2
Select FONTB (フォント B を選択)	3
Select UD FONTA (ユーザー定義フォント A を選択)	4
Select UD FONTB (ユーザー定義フォント B を選択)	5

[Beep settings] (ビーブ設定) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Enable external buzzer (外付けブザーを有効にする)	2
Enable internal buzzer (内蔵ブザーを有効にする)	3
All beeps disabled (すべてのビーブ音を無効にする)	4

[Beep mode] (ビーブモード) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Mode 1 (モード 1)	2
Mode 2 (モード 2)	3
Mode 3 (モード 3)	4
Mode 4 (モード 4)	5
Mode 5 (モード 5)	6

[Test page settings] (テストページ設定) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Back to last menu (直前のメニューに戻る)	1
Enable (有効)	
Disable (無効)	

[E05 configuration] (E05 構成) メニュー

メニュー オプション	オプション番号
Reset JK-E04 config (JK-E04 構成をリセット)	1
Print settings (印刷設定)	2